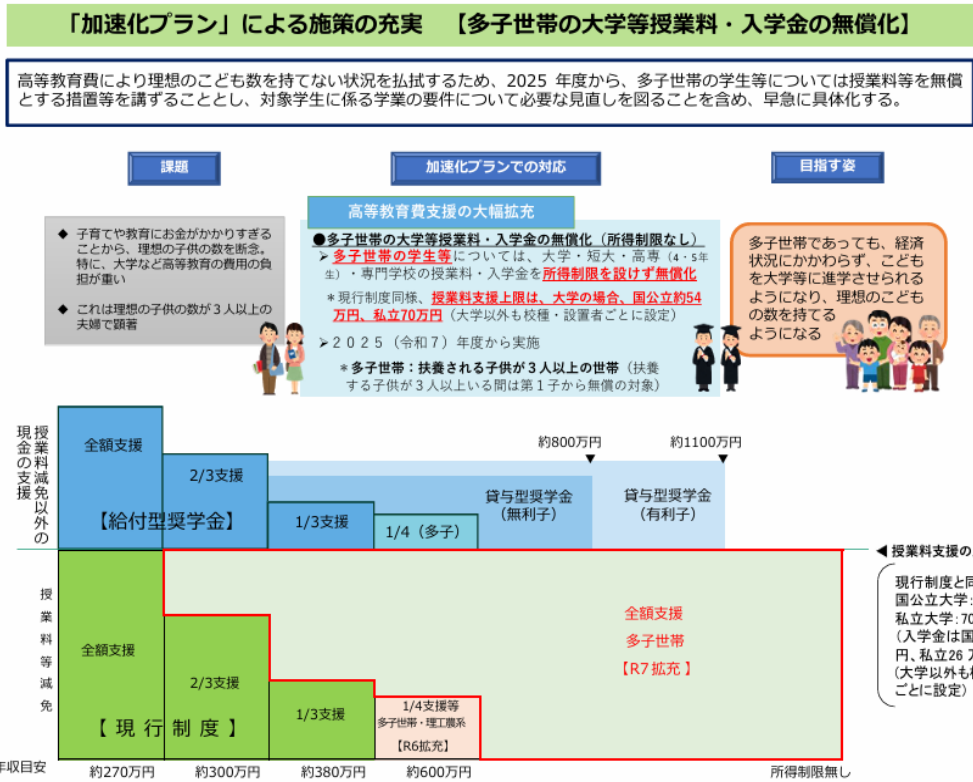


【資料】多子世帯の大学等の授業料等無償化のイメージ（文部科学省 HP より抜粋）



「子供3人を扶養している間の大学等無償化」のイメージ

- 考え方**
- 子供が何人いても、**全ての世帯の大学等の授業料等の負担を最大2人分までにする**
※子供が多い家庭への支援という趣旨
 - あわせて、「同時に多くの子供を扶養して、家計負担が重くなっている時期」の教育費負担を軽減。
- 目指す効果（例）**
- 「高等教育費が障壁となって3人以上の子を持ってない」という状況を改善
※予定の子供数が理想より少ない世帯において、最も多い理想子供数は「理想3人以上」。
※「理想3人以上」の場合、理想の子供数を持たない理由として最も顕著なのは子育て・教育費。
 - 多子世帯において、**長子等の教育費負担が第2子以降に影響しないようにする。**

